

サワラ漬け浮魚礁調査

福田 将 数

1. 課 題 名 サワラ漬け浮魚礁調査

2. 現 状 (概要等)

このサワラ漬け浮魚礁（以下、浮魚礁）は、組合員の生活の安定、浮魚礁の敷設及び管理、魚具漁法の改善及び操業の合理化について協議し、漁業生産力の増強に努め地域漁業の発展に寄与することを目的として、平成2年に初めて八重山の浅海域に設置され、同年10月にはサワラ漬け浮魚礁研究会（以下、研究会）が結成された。事業内容は1. 浮魚礁にかかる表層魚類の生産事業に貢献する。2. 漁場行使の適正管理を行う。3. 漁協及び関係機関との連絡協調に関すること。4. 会員相互の情報交換を行う。5. その他目的達成に必要な事業を行う。である。設置した浮魚礁に4ヶ月経つとプランクトンが付きその後、夏場になるとサワラが良いときで3～4kg/1匹のものが3～4本とれ、シイラが混ざる時もある。

3. 目 的

沖縄本島北部でこの浮魚礁を設置する予定であると聞き、平成2年の設置当初から現在までに浮魚礁の制作状況、設置位置、漁具、漁法、漁獲量、水揚げ等は、どう変化しているのか知る目的で調査を行った。

4. 協力者

研究会会長 宮里長吉他、中1組の漁師の方達

5. 活動方法

平成9年11月19日、朝9時に新栄町の船だまりにて浮魚礁制作現場調査、聞き取り調査、午

後、新栄港から船に乗り1時間のところで制作した浮魚礁の設置現場調査。（詳しい位置は別添図参照）

6. 結 果

浮魚礁研究会の活動は浮魚礁の制作、設置、台風等の影響による流失回収の1サイクルからなり、周年行われており、台風の影響で流された場合は新たに制作するが、それ以外でロープが切れた場合は会員同志で船に乗って捜し回って回収する。会員数は平成2年当初は65名だったが70才を越えて引退する人もいるなどの理由で平成8年度は38名で、会費は1人当たり5千円で、石垣市から108万円の補助金を受け、浮魚礁1基あたり約30万円かけて4基制作された。耐久性は台風で流失した場合を除いて、ロープが切れたり、老朽化したのを替える程度でフロートの部分は半永久的に使える。特に名蔵湾に設置したものは10年もっている。サワラは、水深90～150mの所にいるのでそれに合わせてロープの長さも200m～350mとっている。研究会設立当時は、新栄漁港から離れた石垣島北部や東部にも浮魚礁を設置していたが盗難にあったので今は設置していない。現在の設置数は合計4個で設置場所は、平成2年当時の設置場所を基準にそれぞれ周囲500mの範囲で任意に移動して設置して、研究している段階である。

漁船は2t未満で1人乗りで、漁具は平成3年当初のもの（図1-1）と同じで先端の針は、最近では自家製疑似針（図1-2）が主体でそれ以外に体長14cm内外のグルクン（たかさご）、ガツン（ひめじ）、ムロなどの鮮餌を釣針の“また”に乗せ12本号のナイロン糸で結着したり、カツオの腹肉を1/3の部分に針を通し、

先端をナイロン糸で結着したりして(図1-4)、これらを漁場に到着すると船速5~6ノットにして曳航する“サワラ曳縄”と呼ばれる漁法(図1-3)で漁獲する。八重山では、浮魚礁でのこれ以外の漁法は禁じられている。

漁獲量及び水揚げは良い時で3~4kg/匹のサワラが3~4匹獲れ、平成2年当初から現在までで漁獲量が減ったということはなく獲れる年と獲れない年が交互している感じである。獲れたサワラは500円/kgで浜売りしている。なお、セリには出していないので詳しいデータはない。

浮魚礁を設置して8年経つが研究会はまだ健在であり制作も多少手間はかかるものの、皆、和気藹々とやっており設置現場も皆とからそう遠くなくサワラ以外の収穫もあり、高齢者向きであることがわかった。この漁法は北部でも成功するであろうと実感した。

7. 次年度への展開

今回はこの浮魚礁での実際の漁の現場を調査したいと思っている。

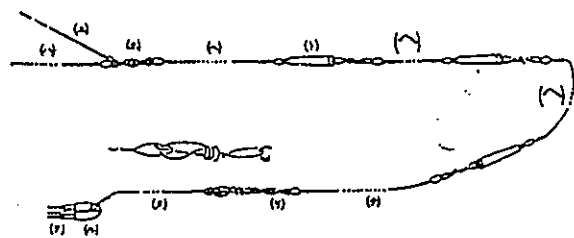
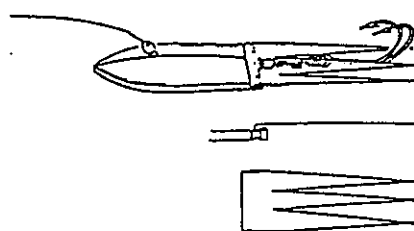


図1-1 漁具の一般構成図

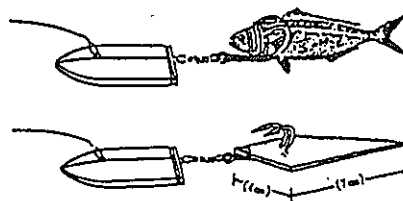


- (イ) 張出竿
- (ロ) 張網
- (ハ) 竿先糸
- (ニ) とったり
- (ホ) サルカン
- (ヘ) 道糸
- (ト) おもり
- (チ) 幹糸
- (リ) サルカン
- (ヌ) 釣元ワイヤー
- (ル) 潜航板及び擬餌
- (ヲ) 釣糸

図1-2 潜航板、擬餌見取図



図1-3 操業見取図

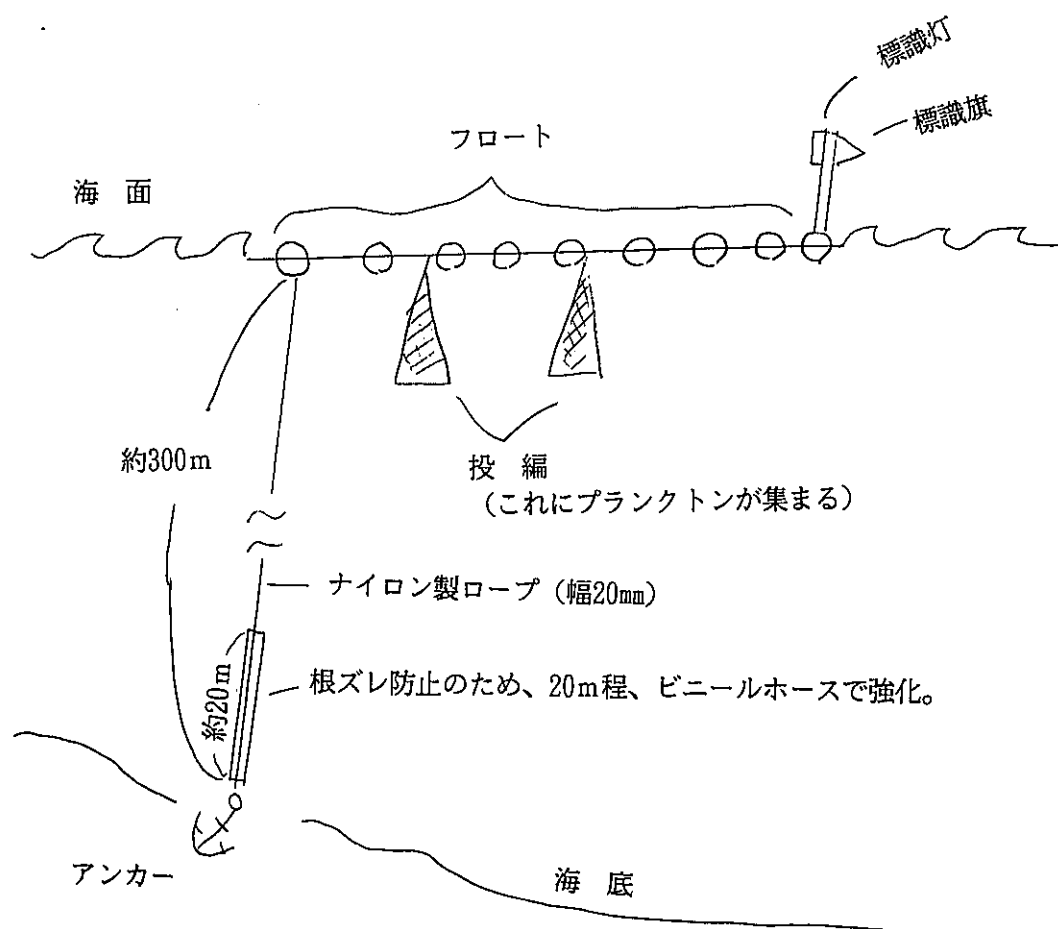


装餌法

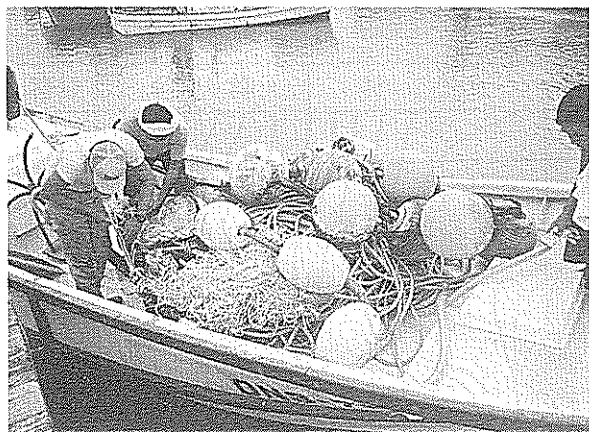
図1-4 装餌の方法

表1-1

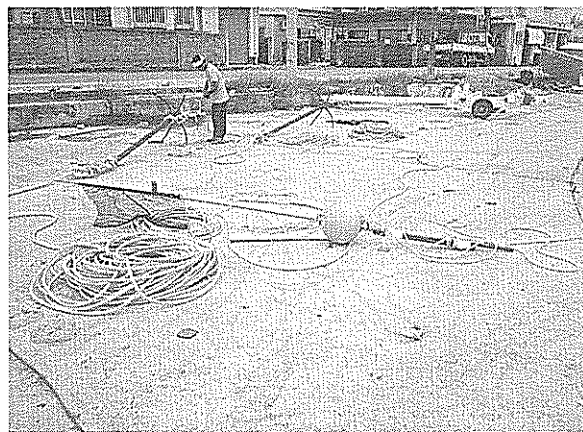
符号	名 称	材 質	規 格 ・ 寸 法	数 量	備 考
イ	張出竿	孟宗竹	2~4 m	1	
ロ	張網	クレモナ	6 ^m /m 3~5 m	1	
ハ	竿先糸	"	5 ^m /m 8~10 m	1	
ニ	とったり	"	6 ^m /m 3~5 m	1	
ホ	サルカン	真ちゅう	8.5cm	2	ハコ型
ヘ	道糸	鋼	1 ^m /m 40~45m	2	ワイヤー
ト	おもり	鉛	長さ15cm 直径1.5cm	6	1本曳に3個使用 自家製
チ	幹糸	ナイロンテグス	120号 8 m	2	
リ	サルカン	真ちゅう	5.7cm	2	ハコ型
ヌ	釣元ワイヤー	鋼	0.8 ^m /m 6 m	2	
ル	潜航板及擬餌	鉛	長さ5.5cm 幅3 cm	2	チョンチョンミー
ヲ	釣糸	鋼	2又針 38号	2	



浮魚礁構成図



浮魚礁全体風景



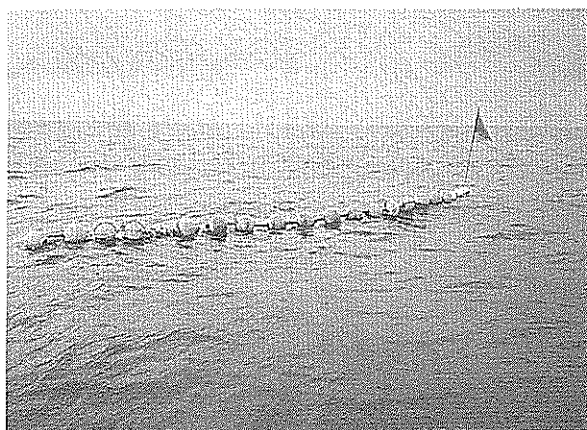
浮魚礁標識旗部



浮魚礁アンカー部



浮魚礁設置作業



浮魚礁全体風景